



この家は私の感性をつつみ込んでくれる。

古都の町並みに埋没させることなく、自己の感性に忠実にデザインした外観
外に閉じ、エクステリア、インテリアを统一的に演出
求める宇宙を手に入れる

Earnest architects

右上/キッチンドイツ製のボーゲンボールを採用しており、シンプルな空間に存在感を与えています。右下/ふたつの曲線を組み合わせた壁を前面に配置し、京都住宅地の景色に埋没しないよう印象強いモダンデザインを目指した外観。左/インナーアプローチ(写真左)、中庭(写真右)に向けて開かれたリビングは、周辺環境に影響されない演出された空間。オーナー拘りのインテリアと調和し個性を内に収めた空間は、セキュリティーにも機能しています。



右上/バロックモダンをコンセプトにした主寝室。ガラスの間仕切りを採用し、見せるクローゼットにすることで、奥様がコレクションしている洋服がインテリアの一部となっています。右下/リビング吹き抜けに階段と空中廊下廊下を配置し、日常動線に変化を与えました。左/全ての部屋を中庭に向けて開き、周辺環境からの離脱を計りました。青いモザイクタイルを施した水盤はきれいな水の揺らぎを演出し、生活に癒しを与えています。



お問い合わせ
アーネストグループ・ヘッドカンパニー
アーネストアソシエイツ株式会社
〒108-0014 東京都港区芝 5-5-1
TEL.03-3769-3333

設計：アーネストアーキテツ株式会社
<http://earnest-arch.jp>

アーネストアーキテツ

(資料請求番号 000)